議事発言要旨

◆ 会 長

次第に沿って議事を進めていく。

「(1) 前回の意見交換（ワークショップ）の結果」について事務局から説明をお願いする。

■ 事務局

「資料 1」について説明。

◆ 会 長

事務局からの説明について質問・意見等はないか。

● 委 員

今月から熊本市主催の防災士の養成講座が開催されているが、受講生は何名か。

■ 事務局

定員100名に対して92名が受講し、若干であるが行政職員も受講していると聞いている。

● 委 員

受講した方は防災士の資格を得た後、地域でどのような活動を行うことになっているのか。

■ 事務局

突発的な大規模災害にも対応できるよう、校区防災連絡会や避難所運営委員会の運営や立ち上げ等に関わってもらうなど、地域の防災リーダーとしての役割を担ってほしいと考えている。

◆ 会 長

防災士の資格を得た方が校区防災連絡会や避難所運営委員会の運営等に積極的に参加するための工夫を行うことを行政側をお願いする。

他に質問・意見等はないか。

● 委 員

防犯協会の現状について知っていただきたいことがある。

現在、防犯協会は高齢者の割合が非常に多く、次世代の担い手がないという問題を抱えている。

以前、私が組織の若返りを図るために定年制を提案したところ、次世代の担い手がないという理由により他の会員から猛反発を受けてしまったことがあった。

今後の重要な課題は、次世代の担い手不足の解消であり、また、担い手の育成は、子どもの見守り（防犯パトロール）の分野だけではなく防災の分野においても非常に重要な課題であると考えている。

● 委員

防犯協会による子どもの見守りは言うまでもなく、交通安全協会が行っている登下校時の子どもの見守り活動も非常に重要である。また、公園愛護会が行っている公園の清掃によって子どもたちが安心して遊ぶことができるという意味においても子どもの見守りについては、防犯協会や交通安全協会、さらには、公園愛護会、PTAなど総合的な視点での連携が必要であると考えている。

● 委員

自分が住んでいる校区では、防犯協会がランドゴルフのセット費用を負担することを条件に防犯グッズ（帽子とチョッキ）を着用しながらランドゴルフを行うようお願いしている。

小学校の下校時間に合わせて防犯グッズ（帽子とチョッキ）を着用しながら帰宅してもらえれば、子どもの防犯対策になるわけである。

要するに防犯活動に参加してもらうためには、ただ単にお願いをするだけではなく特典を与えるなどの工夫が必要なわけである。

● 委員

自分が住んでいる校区内では風呂の覗き見や私有地内へのペットボトル等の不法投棄が発生していた。

防犯協会長の助言によってのぼり旗を立ててみたところ、覗き見や不法投棄が無くなり今では様々な場所にのぼり旗が立っている。

そこで、犯罪防止のためには先ほど話のあった防犯のチョッキの着用やのぼり旗を立てるなど何らかの工夫が必要だと改めて実感した。

● 委員

のぼり旗の標語を教えてください。

● 委員

交通安全に関する標語や子どもの見守りに関する標語など様々な種類がある。どのよう

な標語が良いかについては防犯協会が教えてくれるが、重要なことはのぼり旗を立てることである。

◆ 会 長

他に質問・意見等はないか。

● 委 員

地域課題で共通していることは「人と人とのつながり」や「世代間交流」が重要であるということを実感した。

これからは、課題解決のために固い決意を持って具体的に取り組むという行動が大切である。可能であれば、のぼり旗を立てる等もっと具体的な提案を挙げる事ができればよいと考えている。

またそれ例外にも、例えば、ハザードマップをどのように活用した方がよいのか、それによってどのような効果が出るのか等をもっと掘り下げて検証することも必要であると感じた。

◆ 会 長

他に質問・意見等はないか。

● 委 員

東区内のみなし仮設住宅の入居者数を教えてほしい。

■ 事務局

今年の8月末現在で約 1,700 世帯がみなし仮設住宅に入居している。

● 委 員

民生委員を通じて入居先の保証人がいない、さらには転居費用や転居先の家賃が支払えないなどの理由によってみなし仮設住宅を出ることができない方が大勢いるという声が挙がっている。

このような方々に対して、行政はどのような支援を行っているのかを教えてほしい。

■ 事務局

去年の下半期から、1日も早く住まいの再建ができるための支援（伴走型住まい確保支援事業）を不動産の専門家を通じて行っており、さらに、転居費用や入居の際の初期費用を支援するために転居費用助成制度（1世帯当り：10万円の助成）や民間賃貸住宅入居支援助成金（1世帯当り：20万円の助成）などの制度を設けている。

なお、これらの制度を申し込むための窓口を本庁・各区役所内に設けている。

また、保証人についても熊本市社会福祉協議が保証人の代行を行っている。

◆ 会 長

行政側には民生委員等と連携しながらみなし仮設住宅に居住している方の支援をお願いする。

他に質問・意見等はないか。

● 委 員

保障人の斡旋や支援制度に関する情報をホームページ等で公開しているのか。

■ 事務局

ホームページ等で公開している。

◆ 会 長

事務局側にお願いしたいことがある。

自治会活動に関する手引き書や加入促進リーフレットを作成することも大切だが、次世代のリーダーを養成するためにはどうすればよいのかを本庁主務課と協議していただきたい。

他に質問・意見等はないか。

● 委 員

市民先生はどのような方を想定しているのか。

■ 事務局

Line の活用方法を講義してもらうために講師として大学生を招いたり、生活の知恵などを伝承してもらうために高齢者を招聘することなどを想定している。

● 委 員

大学生が市民先生になって学校の宿題の面倒を見るという活動があるが、大学生たちはどうやって地域の方々とネットワークを築いているのか。誰かご存知であれば教えてほしい。

◆ 会 長

ゼミの研究活動を通じてネットワークを築いていく方法とボランティアセンターを通じてネットワークを築いていく方法がある。

◆ 副会長

桜木校区と川尻校区では、大学生にボランティアで小学生の宿題を見てもらっているため非常に助かっている。

なお、地域活動で最も重要なことは、最初の立ち上げである。

最初の立ち上げが上手くいけば、後輩の大学生等にノウハウ等が引き継がれ地域活動が継続していく。

● 委員

世代間の交流を促すのは非常に難しいと感じた。特に自分が住んでいる校区では、急速に土地の開発が進んだこともあり、若い方々が大勢引っ越してきた。

そこで、できるだけ早く顔見知りになるために顔見知り会を開催したところ、地域活動に参加してくれる方が現れるようになった。

また、自分が住んでいる校区では、地域のお世話係りとして40名程の運営委員がいるが、委員の方々には、地域活動の一環として回覧版の供覧や町費の徴収等をお願いしている。

地域活動や世代間交流の促進は、運営委員の頑張り次第なので自分は運営委員のサポートをさらに行っていきたいと考えている。

● 委員

市民先生の活用は非常に素晴らしい取り組みだと思う。

高齢者社会を迎える中で、今後、まちづくりを進めていくためには地域活動や世代間交流を行うための活動に高齢者の方々にも積極的に関わってもらうことが必要になる。

◆ 会長

他に質問・意見等が無いようなので、「(2) 平成31年度 東区まちづくり推進事業(案)」に移らせていただく。

それでは、事務局からの説明をお願いします。

■ 事務局

資料2について説明

【説明者】

- ・総務企画課長（まちづくりセンター所管分含む）
- ・福祉課長
- ・保健子ども課長

● 委員

「(仮称) ちょこっとパトロール」は素晴らしい事業であるため、託麻まちづくりセン

ター管内だけではなく東区全体で取り組んでいただきたい。

また、「東区まちごと元気プロジェクト～糖尿病予防対策～」についてであるが、なぜ、東区のまちづくり推進事業で行うのかをお尋ねする。

■ 事務局 ①

「(仮称) ちょこっとパトロール」を実施するためには、託麻まちづくりセンター管内の地域団体の協力が必要だが、託麻まちづくりセンターエリア外まで手が回らないと団体からの申し出があったため、ひとまず託麻まちづくりセンター管内のみで実施し、可能であれば東区全体で実施することも検討していきたい。

■ 事務局 ②

特定検診(※注①)によって、糖尿病の受診勧奨域となった東区住民の割合が市平均を上回っていることが判明した。(※注②)

そこで、東京都足立区では糖尿病対策として「野菜を食べやすい環境づくり」のプロジェクトに取り組んだことによって医療費が大幅に下がったという実績があるため、東区でも実践したいと考えたところである。

(※注①) H24年度国保協会けんぽ合算データ

(※注②) 平均を上回っているのは50代～70代の男性と40代・70代の女性

● 委員

熊本市は人工透析を受けている方の割合が全国的平均を大幅に上回っているため、糖尿病の予防対策よりも人口透析の予防対策の方が重要ではないのか。

■ 事務局

人口透析の主な原因はCKD(慢性腎臓病)であり、また、CKD(慢性腎臓病)の主な原因は糖尿病である。

よって、糖尿病を予防することによって人口透析の予防に繋がることになるため、まちづくり推進事業で糖尿病予防対策に取り組んでみようか検討しているところである。

◆ 会長

他に質問・意見等はないか。

● 委員

事業数が多すぎるのではないのか。事業数が増えると協力している方々の負担も増えるため、重点項目を設けて事業数を絞った方がいいと思う。

◆ 会 長

事業の対象が特定の地域や団体に集中すると事業に協力していただいている方々の負担がさらに重くなるため、地域の誰を対象にするのかという視点も含めて事業を計画してほしい。

合わせて、事業の対象が誰なのかをもっと明確にしてほしい。

■ 事務局

事業の対象が誰なのかが判るような資料を作成し、それを次回の懇話会でお示ししたい。

● 委 員

先ほど「資料1」で説明があった「避難所運営ヒント集」は完成しているのか。完成しているのであれば提供していただきたい。

■ 事務局

「避難所運営ヒント集」は作成中である。完成したらお届けしたいと考えている。

● 委 員

皆でコミュニティ活動をしたいと思っても公設公民館は月曜日が休館だし、上下水道局が管理している会議室などは水の話をしないと借りることができないという制約があるため、東区内ではなかなか会議室が見つからない。昨日、熊本地震の経験を聞かせてほしいということで鹿児島県から約50名の民生委員が来られたが、東区内の会議室は全て満杯であったため、新町にある会議室を借りた次第である。

公設公民館だけではなく、地域公民館や地域コミュニティセンターも満杯でなかなか使用できないのが現状であるため、公共が管理している会議室で何処か利用できる場所があれば教えてほしい。

■ 事務局

利用できそうな会議室がないかを調査する。

◆ 会 長

他に質問・意見等が無いようなので、「(3) 東区ささえあいプラン」及び「(4) 校区防災連絡会・避難所運営委員会設置状況」に移らせていただく。

それでは、事務局からの説明をお願いします。

■ 事務局

「資料 3」及び「資料 4」について説明。

◆ 会 長

他に質問・意見等が無いようなので、「(5) 平成30年度 東区民まつりの振り返り」に移らせていただく。

9月23日(日)の区民まつりには、所用により参加できなかったが大盛況だったと聞いている。そこで、区民まつりに参加したゼミ生に感想を述べてもらう。

● ゼミ生

食べ物もおいしかったし、警察や消防の車両が参加したり、さらに、様々なイベントがあったため大変面白かったし、自分たちが設けたブースにもお客さんが来ていただいたので非常に充実した時間を過ごさせていただいた。

しかし、区役所前の交通誘導を改善した方がよいと感じた。何故なら、乗り物での立ち入りが禁止されていることを知らずに自動車や自転車でお越しになられた方がいたため、東区役所前の入口付近が混雑し、近所の方々に迷惑をかけてしまったからである。

◆ 会 長

時間が迫ってきたため、これで議事を終了する。